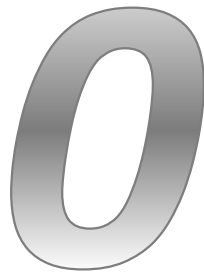


環境経営レポート

株式会社 総環



Zero
Emissions



認証番号0006715



対象期間:2025. 1. 1~2025. 12. 31

発行年月日:2026. 2. 15(第15版)

ご挨拶

地球に住む動物や植物などの自然界では、食物連鎖のサイクルの中で廃棄された物は、微生物の働きにより水と二酸化炭素に分解され、ほとんどの廃棄物が循環されています。

しかし、私たち人間の世界ではそうはいきません。

文明社会で生活する上で、さまざまな要因によりいろいろな廃棄物が大量に発生してしまいます。もし、これらの多種多様な廃棄物を放っておけば、社会はあっという間にパニックに陥ってしまうでしょう。

それほど膨大で複雑な廃棄物を、私たち人間は毎日の生活や社会活動の中で排出しているのです。

私たちは、産業廃棄物の中間処理やリサイクルを「環境事業」として位置付け、「信頼」と「安心」を経営理念とし、環境を守るという自覚と責任を持って社業に取り組んで参りました。

まず当社では搬入された廃棄物を、大阪市内最大級の敷地面積で環境負荷が極力かからないよう徹底選別して、再生できる物と弊社施設で中間処理する物とに分別しております。

中間処理後さらにリサイクル利用できるものを分別して、廃棄物の効率的で環境に配慮した減量化・再資源化を徹底的に追求します。

現在リサイクルの分野では、焼却炉による熱回収サーマル・リサイクルプラント(熱回収施設の焼却炉としては近畿圏初)、ガレキ・コンクリート廃材の破碎リサイクルプラント(RC路盤材への再生)を所有しております。

限りある資源を大切に、地球環境を健全な形で保全し、未来の子供たちに引き継いでいくこと。これからも「環境企業」として、微力ではありますが社会に貢献できるよう精進する所存でございますので、皆様のご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 総環
代表取締役 福田 猛志

【総環 焼却プラント】



【総環 ジョークラッシャー】



目 次

ごあいさつ	
組織の概要	1p
産業廃棄物処理業の許可状況	2p
産業廃棄物の処理工程図(全体フロー)	3p
選別・破碎工程図	4p
焼却プラント	5p
焼却炉(熱回収施設)、焼却炉排ガス測定結果	6p
環境経営組織及び役割・責任・権限(組織図)	7p
環境経営方針	8p
環境経営目標	9p
環境経営計画(活動内容)	10p
環境経営目標及びその実績	11p
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	11p
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12p
代表者による全体評価と見直し・指示	13p

1 組織の概要

- (1) 事業所名及び代表者氏名
株式会社 総環
代表取締役社長 福田 猛志
- (2) 所在地
本社・工場 大阪市平野区瓜破南2丁目4番47号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 福田 英克 06-6709-1100
担当者 川端 明美 06-6709-1100
- (4) 事業の概要
産業廃棄物の収集運搬・中間処理
建築資材販売
- (5) 法人設立年月日
平成2年8月28日
- (6) 事業規模
資本金 5,000万円
売上高 1,594百万円 (2025年度)
事業年度 1月～12月
従業員数 57人 (2026年1月現在)
産業廃棄物取扱量 126,663.2t (2025年度)
- (7) 許可等の内容
・産業廃棄物収集運搬業 (積替えを含まない)
・産業廃棄物処分業 (破碎・選別・焼却)
- (8) 保有機器設備
・コンクリートクラッシャープラント…2120t/D [日鉄鉱業・光陽機械産業]
・破碎選別プラント (RO-25 ローターシャ-)…1300m³/D [スウェダラ・リンデマン、光洋機械産業]
・風力選別プラント…700m³/D [栗本鉄工]
・旋回流動床焼却プラント (自家発電 960kwh)…95t/D [荏原製作所]
- (9) 保有車両
- | | | |
|----------|-------|------|
| ・バックホウ | PC200 | 3台 |
| | PC210 | 4台 |
| | PC350 | 2台 |
| | PC78 | 1台 |
| | PC138 | 1台 |
| | ZX20U | 1台 |
| ・ペイローダー | | 2台 |
| ・フォークリフト | 6t | 1台 |
| | 3.5t | 1台 |
| | 3.0t | 1台 |
| | 2.5t | 1台 |
| | 1.5t | 1台 |
| ・コンテナ | | 300箱 |
| ・ダンプ | 10t | 2台 |
| | 4t | 6台 |
| | 3t | 0台 |
| | 2t | 5台 |
| ・営業車 | | 5台 |
- (10) 処理実績 126,663.2t (2025年度)
内訳 収集運搬量:5578.4t
中間処理量:121084.8t
- (11) 建設資材販売 (再生碎石) 94,814t

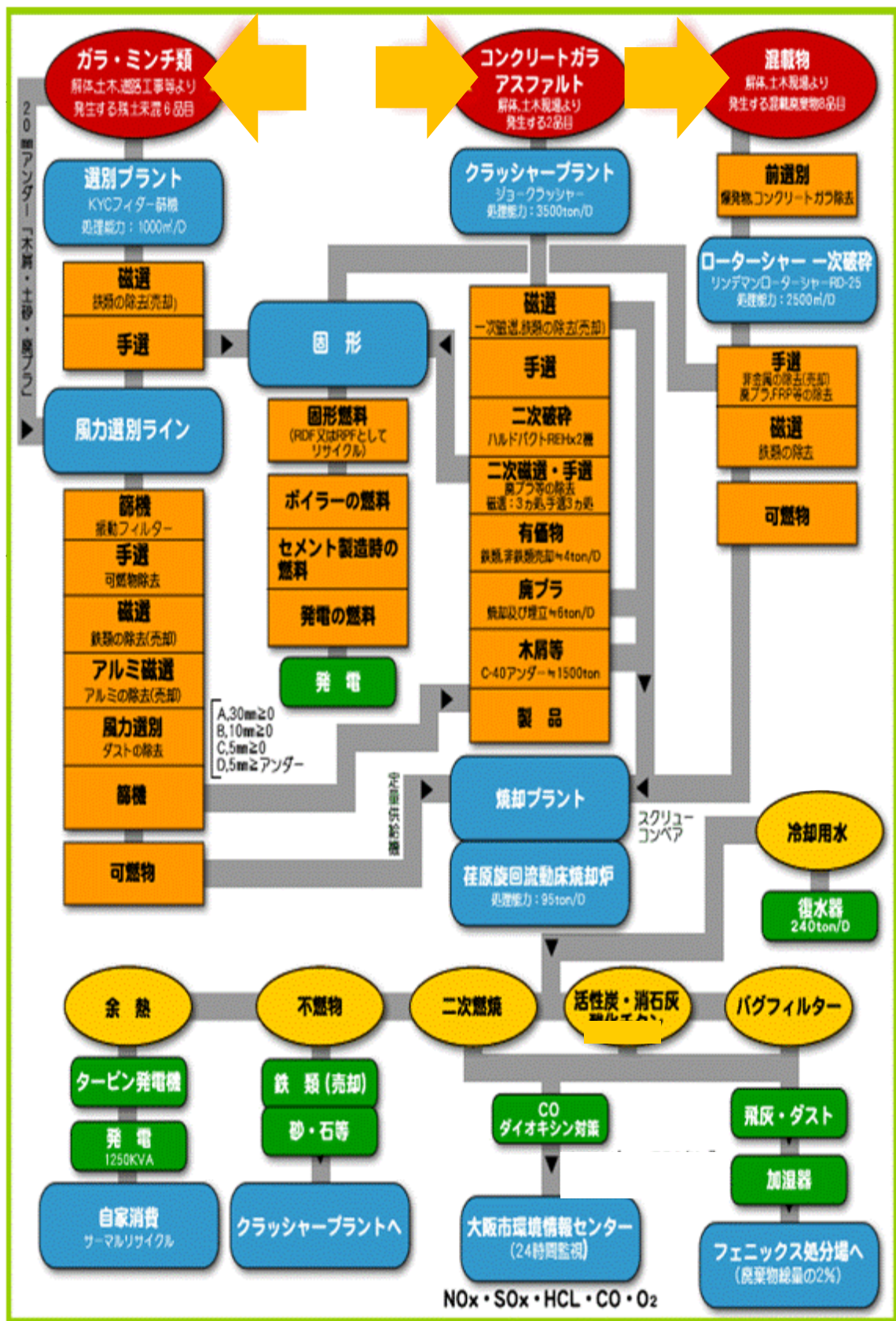
(11-1) 産業廃棄物処理業の許可状況

①産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を含まない)																		
許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	燃えがら	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	動植物残渣	鉱さい	ばいじん	廃石綿
大阪府	2700026371	R6.12.26	R13.12.25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
京都府	2600026371	R4.8.9	R9.8.8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
奈良県	2900026371	R7.3.25	R14.3.24		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
兵庫県	2801026371	R5.3.19	R10.3.18		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
和歌山県	3000026371	R7.11.30	R14.11.29				○	○	○	○	○	○	○	○				
三重県	2400026371	R4.12.16	R9.11.26		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
滋賀県	2501026371	R7.1.9	R13.12.13		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
②特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を含まない)																		
大阪府	2750026371	R8.2.3	R15.2.2	○													○	○
兵庫県	2853026371	R8.2.12	R15.2.11															○
三重県	2450026371	R4.12.16	R9.11.26															○
③産業廃棄物処分業 凡例: 1⇒破碎・選別・切断・焼却 2⇒破碎・選別・切断 3⇒破碎・選別																		
大阪市	6620026371	R8.2.12	R14.10.24				○	○	○	○	○	○	○	○				
							1	1	1	1	2	2	2	3				

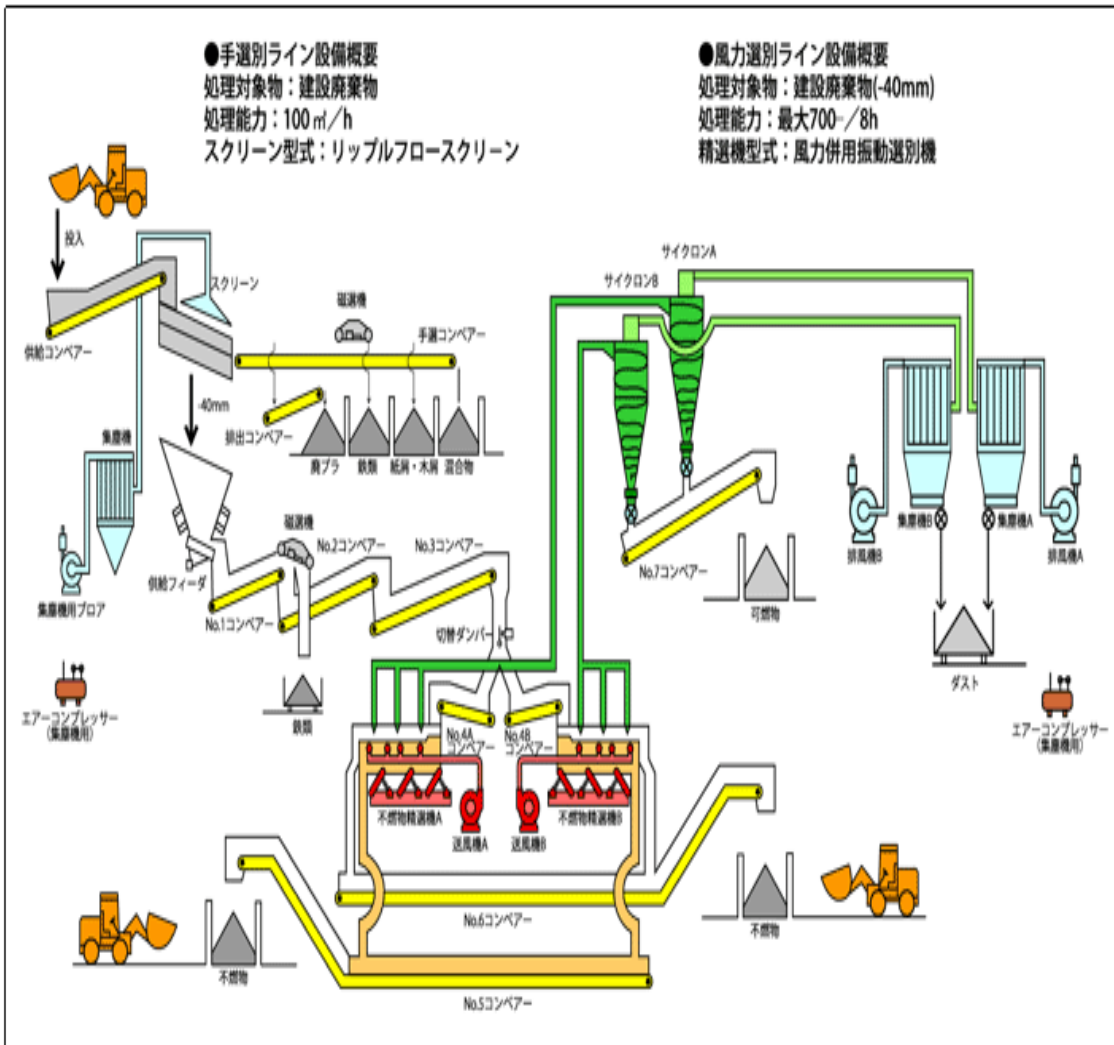
(11-2) 廃棄物熱回収施設設置者認定

認定番号	認定年月日	有効年月日	認定を受けた者	認定者	熱回収率	熱回収の方法
1	R3.10.25	R8.10.24	(株)総環	大阪市	12.18%	発電

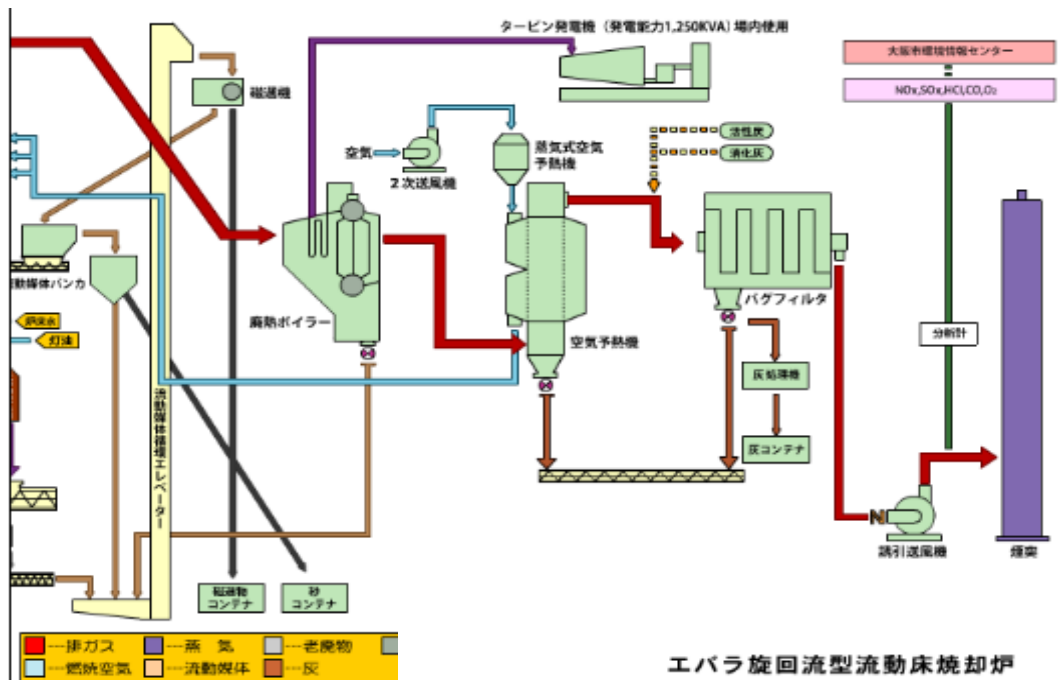
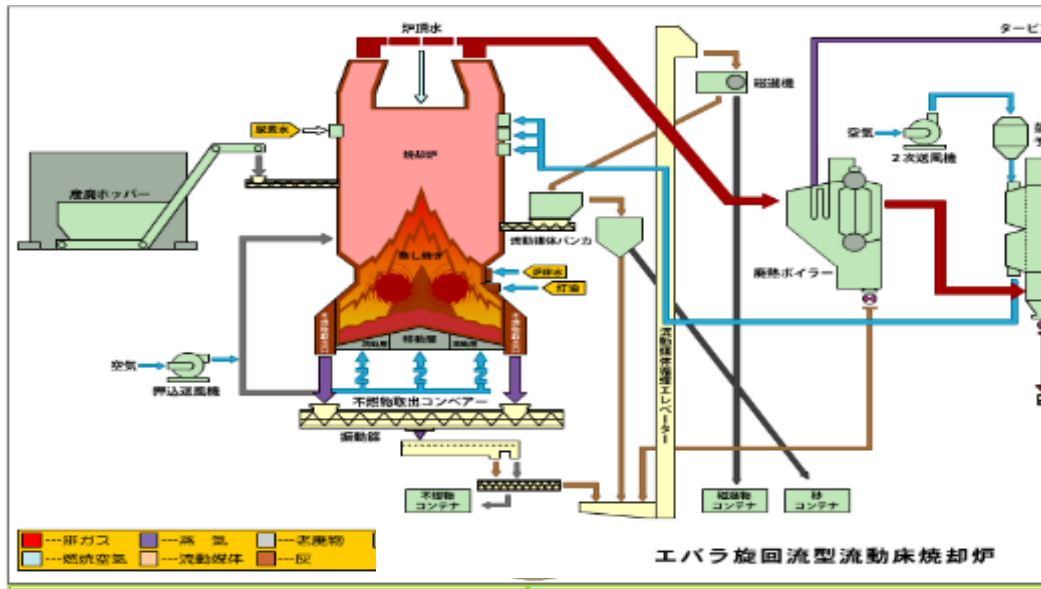
(12-1)産業廃棄物の処理工程図(全体フロー)



(12-2)選別・破碎工程図



(12-3)焼却プラント



(12-4)当社の焼却炉は熱回収施設として大阪市から認定を得ています

焼却炉の廃熱ボイラーとしてのCO2削減効果試算

当社の巡回流動床焼却施設(焼却発電プラント)では廃棄物焼却廃熱を最大で時間当たり960kWの発電を行います。発電した電力は構内にて利用しCO2削減に大きく寄与しています。この熱回収施設は大阪市からの認定を受けて、低酸素社会・循環型社会の構築に貢献しています。最大960kWの発電能力は6,912MWh/年(稼働300日)となり、一般家庭約2,000世帯の年間消費電力量にも相当します。受給電力(0.318kg-CO2/kwh)にてCO2に換算した場合は最大約2,200t/年の削減能力となります。また原油換算にして約840kLの代替効果があります。(下図)

※環境省、林野庁の資料及び二酸化炭素排出係数(0.318kg-CO2/kWh(関西電力2020年度調整後))から算出しています



(12-5)焼却炉排ガスの測定を定期的を実施しています

焼却炉排ガス測定結果				
検体採取年月日		R7.9.15	R8.2.23	排出基準
項目	単位	焼却炉煙突出口		
硫黄酸化物	m ³ /h	0.33	1.2	2.4
ばいじん	g/m ³	0.011	0.011	0.15
塩化水素	ppm	10	18	430
窒素酸化物	ppm	31	29	250

ダイオキシン類測定結果				
検体採取年月日		R6.4.7	R7.9.15	排出基準
項目	単位	焼却炉煙突出口		
ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	1.2	2.9	5

※過去の測定データは当社ホームページに掲載しています

URL: <http://www.soukan.jp>

3 環境経営方針

基 本 理 念

「大切にしたい私たちの未来」 21世紀は、環境の時代といわれており 当社は廃棄物の排出抑制および適正処理を推進し、ゴミを資源に変えていくことをモットーとして、資源循環型社会の一翼を担うべく事業活動に 取り組むことを基本理念とし、かつ 環境経営の継続的改善を推進します。

基 本 方 針

1. 環境関連の法令や地域の条例、協定等を遵守し、廃棄物の適正処理に 貢献していきます。
2. 再利用やりサイクルの推進により環境負荷を軽減させます。
3. 産業廃棄物処理施設の効率的な稼働と重機・車両の燃料の低減などにより、環境汚染の予防に努めます。
4. 地域環境保全にむけ、二酸化炭素の削減と水資源の節約を図ります。
5. 環境に配慮した物品の購入や使用を推進します。
6. 当社の事業活動に関して、可能な限りの環境配慮活動を実施していきます。

全従業員に、この環境経営方針を周知させまた公表致します。

2010年 4 月 1 日 制定日
2021年 1 月 31 日 改定日

株 式 会 社 総 環
代表取締役 福田 猛志

4-1 環境経営目標(原単位)

2019年度から中間処理量当たりの原単位を目標としている。

環境目標		基準数値		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
		2015~2017年度平均値		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
二酸化炭素 排出量 の削減	電力使用量の削減	対基準年度削減%		1.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	
		2,797,533	kWh	2,769,557	2,741,582	2,741,582	2,741,582	2,727,594	2,727,594	2727594.4	2727594.4	
	排出係数 (kg-CO2/kWh)	13.4 kWh/t		13.3	13.0	13.0	13.0	12.9	12.9	12.9	12.9	
		0.418	5.60	kgCO2/t	5.55	5.43	5.43	5.43	5.38	5.38	5.38	5.38
	燃料使用量の削減	対基準年度削減%		1.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	
		排出係数 (kg-CO2/L)	ガソリン	7,542	L	7,467	7,391	7,391	7,391	7,353	7,353	7353.5
	3.61			L/t	3.58	3.51	3.51	3.51	3.47	3.47	3.47	3.47
	2.320			0.084	kgCO2/t	0.083	0.081	0.081	0.081	0.081	0.081	0.081
	排出係数 (kg-CO2/L)	軽油	353,207	L	349,675	346,143	346,143	346,143	344,377	344,377	344377.0	344377.0
			1.69	L/t	1.67	1.64	1.64	1.64	1.63	1.63	1.63	1.63
			2.580	4.36	kgCO2/t	4.32	4.24	4.24	4.24	4.19	4.19	4.19
	排出係数 (kg-CO2/L)	灯油	58,831	L	58,243	57,655	57,655	57,655	57,361	57,361	57,361	57361
			2.82	L/10t	2.79	2.73	2.73	2.73	2.71	2.71	2.71	2.71
			2.490	0.70	kgCO2/t	0.69	0.68	0.68	0.68	0.67	0.67	0.67
CO2合計		2,245 t-CO2		2,222	2,200	2,200	2,200	2,189	2,189	2,189	2189	
CO2原単位		10.8 kgCO2/t		10.6	10.4	10.4	10.4	10.3	10.3	10.3	10.3	
用水使用量 の削減	排水量の抑制	対基準年度削減%		1.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	
		9,730	m3	9,632	9,535	9,535	9,535	9,486	9,486	9,486	9486	
		4.66	m3/100t	4.61	4.52	4.52	4.52	4.48	4.48	4.48	4.48	
中間処理量	2020年度まで固定 2021年度以後 1%増	対基準年度増加率%		0.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	
		208,771	t	208,771	210,859	210,859	210,859	211,903	211,903	211,903	211,903	
		中間処理量が原単位指標となるため、2021年度以降は暫定的に1%増とするが、処理量の伸びを見て見直す。										

※中間処理量の基準値は、2013年度～2017年度の平均で算定している。

※灯油は、焼却炉の助燃用及び白煙防止用のため段階的削減が困難であり、2014年度実績数値を維持することを目標とした。

廃棄物排出量の削減	受託産物の減量	リサイクル率目標(%以上)	80	80	80	80	80	80
	一廃の排出抑制	1人当たり排出量(kg以下)	30	30	30	30	30	30
製品及びサービスに係る活動	資源リサイクル	金属くず回収量(t以上)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
	情報収集	顧客のCS情報の収集	実施	実施	実施	実施	実施	実施
グリーン購入	地域貢献活動	清掃活動回数(回/年)	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回
	G商品率先使用	エコマーク商品使用拡大	年度使用数+1品目	2品目追加				

5 環境経営計画

環境目標達成のため、当社では次の活動計画を策定し部門毎に取り組んでいます。

(1) 活動計画内容	取組部門		
	本社事務部門	工場部門	収運部門
①プラントの効率的稼働	—	○	—
②運転停止時の電源OFF	—	○	—
③エアコン温度管理の徹底	○	—	—
④事務機・照明等の節電	○	—	—
⑤重機の経済的運転	—	○	—
⑥重機のメンテの徹底	—	○	—
⑦アイドリングストップ	—	—	○
⑧エコドライブの訓練と徹底	—	—	○
(2) 廃棄物排出量の削減			
①リサイクル率の向上	—	○	—
②社内廃棄物の分別徹底	○	—	—
③選別ラインで選別の徹底	—	○	—
(3) 用水使用量の削減			
①散水・洗車節水の徹底	○	○	○
②手洗い時の節水の徹底	○	—	—
(4) グリーン購入の拡大			
①エコマーク付事務用品の選択的使用	○	—	—
(5) 環境配慮活動			
①リサイクル資源の回収量の増大	—	○	—
②部門間のコミュニケーションの推進	○	○	○
③関係企業とのコミュニケーションの推進	○	—	○
④周辺道路の清掃	○	○	○

6 環境経営目標の実績

対象期間内の実績と数値評価は次のとおりでした。

※ 2017年度関西電力調整後のCO2排出係数:0.418kg-CO2/kWh

	目標		実績		評価
	2025.01～2025.12		%	増・減	
電気(kWh/t)	13.0	16.2	24.6	増	×
ガソリン(L/100t)	3.51	4.49	27.9	増	×
軽油(L/t)	1.64	2.58	57.3	増	×
灯油(L/10t)	2.73	1.08	60.4	減	○
CO2総量計(t-CO2)	2200	1930	12.3	減	○
CO2原単位(kg-CO2/t)	10.4	14.6	40.4	増	×
自社排出一般廃棄物(Kg/人)	30	6.3	79.0	減	○
受託産廃リサイクル率(%)	80	80	0.0	減	×
水(m3/100t)	4.52	5.38	19.0	増	×
グリーン購入	前年+1種類	1	—	—	○
リサイクル資源の回収量(t)	1,600	1641	2.6	増	○

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

当社の期間内における環境活動計画の取組結果と評価は次のとおりで次年度の取組項目についても次のとおりです

評価は次の5段階で実施しました。

5:100%実施できた 4:75%程度実施できた 3:実施できたのは50%程度であった 2:25%程度しか実施できなかった 1:実施できなかった

(1) 二酸化炭素排出量の削減

	評価	今後の方針	次年度取組
①プラントの効率的稼働	5	特に電力量の大きい施設での取組の徹底	○
②運転停止時の電源OFF	5	施設管理の徹底と停止後の速やかなOFFを徹底する	○
③エアコン温度管理の徹底	4	引き続きこまめに温度管理を行う	○
④事務機・照明等の節電	4	不要な照明の節電とパソコンの節電管理の徹底	○
⑤重機の経済的運転	5	過負荷運転をしないよう心掛ける	○
⑥重機のメンテの徹底	5	定期的メンテナンスを実施する	○
⑦アイドルリングストップ	4	アイドルリングストップを心掛ける	○
⑧エコドライブの訓練と徹底	4	急発進・急加速運転を避ける。	○

(2) 廃棄物排出量の削減

①リサイクル率の向上	4	サーマルリサイクルをカウントし、リサイクル率のアップを図る	○
②社内廃棄物の分別徹底	4	分別の徹底を図る	○
③選別ラインで選別徹底	4	引き続きライン選別を徹底する	○

(3) 用水使用量の削減

①散水・洗車節水の徹底	4	特に洗車用水の節水を徹底する	○
②手洗い時の節水の徹底	4	常に節水を意識し実施する	○

(4) グリーン購入の拡大

①エコマーク付事務用品の選択的使用	4	エコ消耗品の利用拡大を継続する	○
-------------------	---	-----------------	---

(5) 環境配慮活動

①リサイクル資源の回収量の増大	3	次年度は1600Tの回収を目指す	○
②部門間のコミュニケーションの推進	4	定期的ミーティングを実施する	○
③関係企業とのコミュニケーションの推進	5	こまめに情報収集や提供を行う	○
④周辺道路の清掃	5	埃の出ないよう毎日の散水と週1回の清掃を行う	○

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に關係する環境関連法令と遵守状況は次のとおりです。

No	法律・条例・その他名称	規制・規定の内容	当社対応状況	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1. 産業廃棄物処理業の許可 ・運搬車の表示及び書類の携帯	許可証	遵守
		2. 産廃処理施設設置許可 ・構造・維持管理基準	点検記録	
		・産廃処理施設技術管理者設置 ・帳簿の記載及び保存	選任届出書 帳簿	
		3. 産業廃棄物の受託・委託基準 ・保管基準(周囲に囲い、流出防止、掲示板)	— 看板表示	
		・委託契約(2者契約、許可証写、最終処分) ・マニフェスト交付、未回収時報告	契約書 マニフェスト綴り	
2	大気汚染防止法	特定施設設置届(焼却炉)・排出基準	設置届出書・測定データ	遵守
3	ダイオキシン類対策特別措置法	大気排出基準・燃えながら処理基準 排出基準: 5ng-TEQ/Nm3	測定データ H31.4.7 2.9ng-TEQ/Nm3	遵守
4	水質汚濁防止法	特定施設設置届(該当施設なし)	—	遵守
5	騒音規制法	特定施設7. 5KW以上(空気圧縮機・破碎施設)	設置届出書	遵守
6	振動規制法	特定施設7. 5KW以上(空気圧縮機・破碎施設)	設置届出書	遵守
7	建設リサイクル法	発注者の着工7日前の届出	—	—
8	・自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx-PM法) ・大阪府生活環境保全条例	1. 対象地域 大阪府流入規制	適正整備・点検	遵守
		2. 排出基準 H17年規制適合車		
		3. 定期点検		
9	建築基準法	産業廃棄物処理施設設置許可	許可証	遵守
10	消防法	消防用設備点検(機器点検・総合点検)	消火器	遵守
11	道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、安全運転管理者	選任	遵守
12	大阪市火災予防条例	1. 炉保有空地	保有空地確保	遵守
		2. 少量危険物 指定数量の1/5以上	保管維持管理	
		3. 指定可燃物 紙くず1000Kg以上		
13	フロン排出抑制法	1. 業務用エアコン簡易点検及び定期点検	定期点検の実施	遵守
		2. 廃棄時の適正廃棄		

※なお、当社は省エネ法対象規模未滿(原油換算1500KL未滿)です。

(2) 当社に關係する環境関連法令の遵守状況を確認した結果は、違反はなく、關係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。また、訴訟等もありません。

また、近隣住民からの苦情、要望等はありません。

9 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

取り組み内容として安定した焼却を実施し、サーマルリサイクルの向上に努めた結果、灯油使用量の削減が行えたが、搬入量の増加による軽油・ガソリン・水道使用量が増加しているため無駄なアイドリングのストップを実施し、使用量削減に努める。

(2) 見直し・指示

環境負荷低減の取り組みに関しては引き続き計画通りの目標で実施する。リサイクル率の向上においては、更なる選別の徹底と磁選機活用によるスクラップの回収率のアップに努力する。実施体制については現状を維持し、安全作業に努める。

アクセスマップ

